

(公社) 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 4 月 23 日 (火) 19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，高城，原田，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，大野，杉岡，三橋，佐藤
多田，松村，小山，東海林監事，立花監事，遠藤監事，荒木役員選出委員

1. 理事行動報告

3 月 8 日 (金)	組織部会	杉岡，三橋，小山，松村，蝶名林，千葉，原田
3 月 14 日 (木)	学会運営部	中西，大野，小松，高城
3 月 22 日 (木)	編集委員会	高城，蝶名林
3 月 25 日 (月)	学術部会	小松，高城，蝶名林，大野
4 月 2 日 (火)	表彰選考委員会	千葉，工藤
4 月 2 日 (火)	学会運営部	中西，大野
4 月 4 日 (木)	会計部	鈴木，土橋
4 月 10 日 (水)	STI 委員会	原田
4 月 11 日 (木)	渉外部会	原田，多田，佐藤
4 月 19 日 (金)	選挙管理委員会	鈴木

2. 報告事項

(1) 平成 24 年度第 11 回理事会議事録の内容確認

(2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・新人オリエンテーションに関して

日時：平成 25 年 4 月 24 日 (水) 19 時～(受付 18 時 30 分～)

場所：社会保険中央病院

内容：公益法人化に伴い昨年とは一部内容の修正が必要となる。

組織部は今までの活動内容紹介と支部化後の区分け説明予定

・首都圏学会開催内容の候補

R-CPC (講師への打診を近日中に行う予定) と健康博を行う方向

<各支部 (地区) 報告>

・いずれの地区ともに未開催のため，特記すべき事項なし

<フォーラム委員会>

未開催のため，特記すべき事項なし

【検討および確認事項】

①首都圏学会の準備

②公益化後の組織体系に関して

③日臨技助成金について (例年のガン撲滅・STI，健康と検査展，新人会員に対する研修会)

申請時期と開催時期にもよるが申請は行う方向で調整

○地域保健共催事業部（渉外部）

【報告事項】

- ・公益社団法人認定により新定款による運用となり、会員種別に学生会員が追加された。
これに伴い、都内技師養成校には学生会員設立のお知らせ及び入会案内を送付している。

【検討事項】

1) 看護フェスタ 2013 について

日時：平成 25 年 5 月 12 日（日）12：00～16：00

場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

実施内容：血糖測定・骨密度測定

<実務委員>

- ・各地区（支部）5 名を地区理事経由で募集中（締切 4 月 19 日）
今年度は、簡易診療所開設のため免許証番号および免許取得日の記載が必要となる。

<待ち時間短縮に向けて>

- ・各測定参加者が例年減少傾向にある。その原因として待ち時間が長いことが考えられその対策について話し合った。

- ・例年血糖測定器 4 台で運用していたが、今年は 5 台運用で待ち時間短縮を図り検証してみる。

（堀場製作所へ要確認）

- ・待ち時間短縮のため、参加者の流れを今一度検討する。基本ベースは血糖測定をしてから骨密度測定とする。骨密度測定のみもしくは血糖測定のみも可能とする。骨密度測定の土足禁止スペースをもう少し狭くし、靴の脱ぎ履きの時間短縮及び入り口付近の流れを良くするなどの意見があった。
- ・待ち時間短縮のための案を、多田理事までメールにより提案していただく事にした。

<荷物梱包作業>

- ・次回の渉外部会（5 月 9 日）に実施する。

2) 学生対象講演会

日時：平成 25 年 6 月 22 日（土）14:00～16:20

場所：社会保険中央病院 4 階講堂

テーマ：「臨地実習の意義と取り組み方」

講師：今年の卒業生 2 名、臨地実習病院技師 1 名、臨地実習病院技師長 1 名

学生会員設立により、学生対象講演会も会員以外是非会員として参加費が必要となるが、設立直後でもあり今回は参加費無料とし、次回以降の開催については、会員以外の参加費徴収をアナウンスすることとする案が提示され、理事会にて審議することとした。

- ・平成 25 年度第 2 回学生対象講演会
内容については、各技師養成校担当教員にアンケート調査をし、今後取り上げてほしい内容について意見を求めることとした。
- ・第 2 回首都圏医学検査学会における開催については、学生フォーラムの枠にて開催できるか検討中である。

○学術部

【報告事項】

1) 前回議事録確認を実施した。

2) 理事会報告

- ・H25 年度予算総会が開催され、定款改定が承認された。
その中で、次年度の各研究班の予定表について、内容が全然決まっていない研究班と、決まっている研究班があることについての指摘があった。来年度は予定を決めておいていただきたい。
- ・公益社団法人として東京都から認可された。
- ・実技講習会実施許可願いが輸血研究班と生理研究班より申請されていたが承認された。
その際、予算書記載に関して指摘があった。役員行動費は実技講習会実施日のみ請求としていただきたい。
- ・講師料、行動費等の見直しに関する委員会ができ、これらについて検討を開始した。
実技講師の取り扱いについては学術部としても意見をまとめていきたい。

- ・学生会員について

学生会員証と説明用のリーフレットを作成した。各研究班には学生会員証とともに配布した。

最初の1～2ヶ月は研修開催時に事務局が受付に立ち会う予定。会員証には会員番号が印刷済なので、その番号を入会申込書に忘れずに記載していただきたい。

社会人大学生は、臨床検査技師としての資格を有しているはずなので、正会員の登録を依頼する。

東京都外にある技師養成校の学生も都臨技学生会員として入会可能。

預かった入会申込書と会費の500円は次回の学術部会の際に学術部長に提出する。

学生の参加人数を把握したいので、学生は参加者名簿に記載してもらい、人数を把握できるようにする。
 - ・新年度の研修会参加費について

非会員の研修会参加費は1000円とする。

都臨技の会員でなければ非会員扱いとする。（日臨技のみ会員・地臨技のみの会員も含む。）

学生で学生会員への入会を希望しない人も非会員扱いとする。

新人（新入職者）は、従来7月末まで参加費を無料としてきたが、4月からはこの制度を廃止する。

入会申請中の場合は無料とするが、振込用紙の提示を求めること。
 - ・実技講習会で赤字となった場合の対応について

対象は受益者負担講習会となるので、その時の収入で支出をまかなうのが原則。困難な場合は速やかに学術部長に相談すること。開催日より前の事前準備についてはその都度行動費を請求してほしい。

これに関連して、以下の意見が挙がった。

予算書は参加者も確定していない段階で作成するため、予想よりも参加者が少ないこともある。

その場合は予算書よりも収入が少なくなるため役員行動費は予算書どおりに受け取れていないのが現状である。
 - ・日臨技から助成金をもらうための申請について、各研究班から年2回請求することとなっているので忘れずに請求してほしい。
- 3) 編集委員会報告
- ・査読委員の任期は1年なので来年度の査読委員を決めていただきたい。
 - ・現在、会誌5月号を編集中。8月号の特集は生理。
 - ・事業報告がそろっていないので未提出の方は提出をお願いしたい。
 - ・論文投稿規定について、古い文面があるため現在編集中である。
- 4) 精度管理委員会報告
- ・平成24年2月27日に精度管理報告会を実施した。
 - ・現在最終報告書発行に向けて準備中である。
- 5) 生涯教育委員会報告
- ・期間中の研修会は9回、自己申告は4件16名であった。
 - ・研修会の専門と基礎の登録は予定表と日臨技への登録が必要なので注意してほしい。
 - ・平成24年度の研修会参加者登録（修正）は今月末でできなくなるのでまだの場合は至急実施してほしい。
- 6) 学会関係
- ①第9回東京都医学検査学会
- ・座長推薦より選んだ優秀演題は以下の3題。論文を投稿してもらい、来年の新春のつどいで表彰予定とする。
 - 演題 No.2 Propionibacterium propionicum による涙小管炎の2症例
 広井愛美ら（杏林大学医学部附属病院 臨床検査部）
 - 演題 No.16 大動脈弁狭窄症における血漿BNP値と心エコー検査各種パラメーターの比較検討
 小池加恵ら（府中恵仁会病院 臨床検査部）
 - 演題 No.36 D-Dimer 低値域における3社D-Dimer測定試薬の比較検討
 安井優太郎ら（東邦大学医療センター大森病院）
 - ・学会の総括で、会場管理者より担当者の人数が多すぎて把握しづらかったとの意見があったと報告があった。
- ②第2回日臨技首都圏支部学会
- ・ホームページは既に作成済みで公開中である。
 - ・研究班企画のシンポジストとテーマを早めに決めてもらいたい。
 - ・演題登録は4/16～開始予定。登録をぜひお願いしたい。

【討議事項】

1) メーカー社員の講師について

- ・通常の研修会

都臨技主催の研修会の時は講師費をとりあえず支払う。但し、メーカー側が受け取らない場合もあるとのこと。

- ・メーカーとの協賛研修会

臨薬協の規定では、費用負担は1/2が原則とのこと。

講師料について、メーカーが直接講師に支払いたいという場合は、そのまま払っていただく。

そうでない場合は一度都臨技が広告宣伝費として預り、都臨技側から講師に支払う。

研修会の最初10～15分間は協賛メーカーの宣伝時間として使ってもらおう。

2) 生理研究班より分割案が出ている

生理研究班では近年担当する分野も多様化しており、各分野に担当を分けて活動していること。

その場合、各分野4名程度となり、運営的に厳しい場合があることから、分割したいとの提案があった。

分割案は①循環・呼吸生理分野②神経生理分野③画像生理分野

幹事を増やすのか、これに合わせて研究班の再編も行うべきではないかとの意見も挙がった。

生理研究班からは必要と思われる人数をあげていただき、継続審議とした。理事会で審議する方向性で検討中。

3) H26年度からの支部活動として学術部としてどのように協力していくか

まず支部が4つに分かれること。支部ごとに予算がついて研修会などを開催するようになるとのこと。

基礎の研修会については支部が主体になって開催することを考えていること。

将来的に支部から学術を出せるようにしたいこと。との説明があった。

本日は特に意見が出なかったが、支部移行後の様子が見えにくいとの意見が挙がった。継続審議とする。

【その他】

- ・4/24(水)19:00～社会保険中央病院にて新人オリエンテーションが開催される。

各研究班には紹介をしていただいているので、スライドと現行の準備をお願いしたい。

○学会運営部

<第9回東京都医学検査学会>

- ・優秀演題の論文化について、本人宛てに論文作成依頼状を送付した。

- ・学会総括報告について

1) 総括

今回の学会から毎年開催とし、一般演題を募集することとした。過去の実績を考慮すると、一般演題を多く集めることが企画段階から課題として挙げられたが、役員や研究班幹事による広報などで55演題を集めることができた。

学会参加者は会員344人、非会員7人、学生39人、賛助会員約50人で合計450人以上の方々に会場に足を運んでいただき、一般演題では活発な討議が行われ、会場に入りきれないほどの盛況なセッションもあった。

多くの会員に参加していただいたことは、抄録集を会誌とは別刷りで全会員に配布したことや、参加費を低く抑えたこと、一般演題が多く集まったこと、会場の立地条件などの要因が考えられる。

開催時期の関係で学生の参加者がどれほどいるか危惧していたが、学生担当委員の努力によって多くの学生に参加してもらい貴重な体験をしてもらったことと考えている。

企業との連携では、抄録集の公告企業17社、機器・試薬セミナー8社、ランチョンセミナー4社の協力を得ることができ、学会運営に貢献していただいた。

公開講演では、新宿区の区報に開催のお知らせを掲載していただいたことにより、一般都民の方々の参加も多く見られた。

意見、改善点を下記に列記し、今後の学会運営の参考にすることとした。また、本学会より優秀演題を選考し、受賞演題を論文化するよう取り決めた。

2) 会期について

- ・2月開催について

2月は学会としてはオフシーズンであり、演題も集まりやすい時期と思われた。国家試験前の時期であり、学生の参加が難しく学校側への協力を求めにくい。学会企画委員会設置からの準備期間としては妥当で

あった。屋外でのイベントを行うのは時期的に困難（防寒・天候対策）。天候不順（雪等）に対しての不安がある。

・会期に関する検討課題

秋は学会が集中するだけでなく区民祭り等の行事も多い。学生会員の参加を考慮した開催時期の設定。

3) 開催場所について

・会場について

都心部で駅から近いというロケーションはよかったが、狭かった。（学会場・控室）

借用費用は安かった。

・会場割り振りについて

企画と部屋の割り振りに問題があった。招待した先生が狭い会場になった。

4会場しかないなかで、1会場を企業用として割り当てた。

4) 準備・運営について

・開催前

周知、報告が悪く、理事に迷惑をかけた。講演持ち時間変更への対応が悪く、講師、担当者に迷惑をかけた。

受付が前日に準備できたので当日の設営が非常にスムーズだった。

・開催当日

実務委員がコロコロ変わり会場責任者が把握するのが大変だった。実務委員を半日拘束とし、半日は学会に参加してもらおうというのはよかった。

5) 優秀演題について

座長より優秀演題を推薦していただき協議の結果、以下の3題を選出した。

演題番号 2 Propionibacterium propionicum による涙小管炎の2症例

広井愛美ら（杏林大学医学部附属病院 臨床検査部）

演題番号 16 大動脈弁狭窄症における血漿BNP値と心エコー検査各種パラメーターの比較検討

小池加恵ら（府中恵仁会病院 臨床検査部）

演題番号 36 D-Dimer 低値域における3社D-Dimer 測定試薬の比較検討

安井優太郎ら（東邦大学医療センター大森病院）

<第10回東京都医学検査学会>

・学会長推薦委員会

4月24日開催予定

<第2回首都圏支部医学検査学会>

1. 演題募集開始（4月15日～5月15日）

役員の所属施設を含めて周知し、演題応募依頼をお願いしたい。

2. 公開講演

江戸東京博物館への挨拶は、5月14日予定

ライオン株式会社へは、原田常務理事が挨拶済み（講演内容調整中）

3. 学会協賛依頼（ランチョンセミナー、イブニングセミナー、展示、広告）

都臨技賛助会員、日臨技賛助会員へ依頼状を送付

4. 特別企画

研究班企画について学術部班長にテーマ、講師の提出を依頼している。

○庶務部

【報告事項】

・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成25年3月31日現在）

会員数 4,290名

平成25年度賛助会員数 80社

・訃報 当会名誉会員である横澤光博氏 2013年2月 ご逝去

○会計部

【報告事項】

- ・平成 24 年度決算実施
概要：事業活動収支合計 対予算比 103%，事業活動支出合計 対予算費 90%
- ・平成 24 年 3 月 29 日現在の会費収入状況報告
- ・平成 25 年度前期仮払いについて
平成 25 年 4 月 15 日（月），16 日（火） 19:00～ 都臨技事務所にて行う

○事務局

【活動報告】

<3 月，4 月の主な活動>

公益法人移行手続き，法人登記手続き，法人移行に伴う公印，名刺，封筒等の発注
代議員選挙について（選挙投票準備，当選者への通知等）
学生会員の案内の発送
ホームページの変更依頼
平成 24 年度年度末監査

<理事会・監理会議のスケジュール>

- 1) 理事会 第 3 水曜日 19:00～
スマートカジュアルをドレスコードとし，5 月～10 月はクールビズ対応を可とする。
- 2) 監理会議 第 1 水曜日 19:15～

<事務所の夏季休暇，年末年始休暇>

夏季休暇 平成 25 年 8 月 12 日（月）～16 日（金）を夏休みとし有給休暇を利用する
事務員は別途，8 月中に 2 日間有給休暇の利用を許可する
年末年始休暇 平成 25 年 12 月 30 日（月）～平成 26 年 1 月 3 日（金）
年度末休暇は公的機関に準ずる。ただし，前後の有給休暇の利用は相談に応じる

<東京都衛生検査所精度管理（監視指導）専門委員の推薦>

東京都福祉保健局長より依頼に基づき，以下の方を推薦したので報告する。

荒木 秀夫 会員 日本大学医学部附属板橋病院
中西 貴裕 会員 東京都済生会中央病院
横田 浩充 会員 東京大学医学部附属病院

<平成 24 年度決算総会>

日時：平成 25 年 6 月 26 日（水） 19:00～
場所：社会保険中央病院 4 階講堂

<都内検査技師学校の入学式への出席>

4 月 1 日（月）10:00～	昭和医療技術専門学校	下田 会長
4 月 2 日（火）10:00～	文京学院大学大学院	下田 会長
4 月 9 日（火）13:00～	東京医学技術専門学校	千葉 副会長
4 月 10 日（水）13:00～	東洋公衆衛生学院	下田 会長
4 月 12 日（金）11:00～	東京電子専門学校	千葉 副会長

※なお，東武医学技術専門学校については都外のため祝電対応とした

(3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

- 1) 平成 25 年 5 月号校正
 - ・特集：輸血 表紙，あとがき確認中
 - ・シリーズ：入稿済み
 - ・施設紹介：一般財団法人日本健康管理協会 新宿健診センター インタビュー形式

- ・総会の議案書 原稿待ち
 - ・監査報告：4月8日に行われるのでそのあとに提出予定
 - ・会長挨拶：入稿済み
 - ・事業報告，会計報告は大きな変更はない。
 - ・会員のみなさまへは変更予定
 - ・公益社団法人への移行に伴い名称などの変更が必要。
 - ・代議員の選出が今月末に決定する。決定後，名簿を掲載する。
- 2) 確認事項
- ・査読委員の任期は1年なので来年度の委員を各班長に確認する。
- 3) 会誌論文について
- ・都臨技学会での発表に対し，優秀演題が3演題決定し，8月号へ論文掲載は了承が得られた。11月号，2月号については確認中。
- 4) 都臨技会誌広告掲載依頼
- ・賛助会員企業に広告掲載の申し込みあり。
5社から申し込みあり。昨年掲載しているが今年連絡がない5社にはもう一度確認する。
- 5) 会誌シリーズについて
- ・8月号：リハビリ関係（理学療法士，作業療法士に依頼中，返事待ち）
 - ・11月号：薬剤師から治験関連の内容で現在依頼中。

【検討事項】

- 1) 投稿規程の見直しが必要→各自，確認する
- 2) 論文を投稿するときの申込書を作成する。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（3月）
都臨技研修会 5件 登録者数 168名
- ・申告 会場研修 8件 登録者数 34名

○学会長選出委員会

【報告事項】

- 1) 委員会の設置について
東京都医学検査学会規程に基づき，学会長推薦委員会を設置した。
委員会を開催するにあたり，理事・学術部・支部幹事より各2名ずつの委員選出を行った。
その結果，委員として下記の6名が選出された。
理事：原田典明（常務理事）工藤岳秀（庶務部長）
学術部：石山功二（病理研究班班長）小田切美奈子（公衆衛生研究班班長）
支部幹事：永瀬昌史（北支部）寺島照国（西支部）
委員会の冒頭，学会運営部より本委員会設置の目的，経緯について委員への説明を行った。
- 2) 委員長の選出
委員による互選から原田典明理事を委員長とし，議事を進行することとした。
- 3) 学会長候補の選出について
第10回東京都医学検査学会学会長候補者についての意見を求めたところ，4名の候補者が挙げられた。
委員による挙手の結果，荒木秀夫会員（日本大学附属板橋病院）が学会長候補として選出された。
- 4) 今後の動き
荒木氏に打診を行い了解が得られた場合，正式に学会長候補として理事会に推薦する。
もし，了解が得られなかった場合は，再度委員会を招集し学会長候補の選出を行うこととする。

○役員選考委員会

【報告事項】

- ・役員補充について
理事1名の退任により補充を検討している（任期は1年）。
- ・平成26・27年度役員選出についての公示は、会誌8月号を予定する。

○選挙管理委員会

【報告事項】

<平成24年度代議員選挙結果報告>

- ・鈴木事務局次長より選挙結果報告一覧表を配布

<平成25年度選挙管理委員の承認>

- ・理事会より委任状を前年度委員に送付、各委員了承

<都臨技定款および代議員選挙規程の確認>

<選挙管理委員長および副委員長の選出>

- ・平成25年度選挙管理委員会にて互選により以下のように決定した。
委員長 白井 良雄 会員（国家公務員共済組合連合会 立川病院）
副委員長 高橋 秀治 会員（学校法人田島学園 東京医学技術専門学校）

<公益社団法人と社団法人の違い>

- ・鈴木事務局次長より説明がなされた。

<今年度のタイムテーブルの作成>

- ・平成26年度代議員の開示が3月上旬くらいを目処にした場合、各作業工程を逆算し適時実施することとした。
- ・委員会開催について、1~2ヶ月に一度の間隔で定期的に開催する意見が挙がったが、年間スケジュールが確定してから定期とすることとし、まずは次回開催予定日を設置した。

<代議員選挙方法>

- ・選挙の方法について、今回の委員会では具体的意見はなく年間スケジュールが確定を優先することとした。

<代議員選挙の開示方法とその期間について>

- ・年間スケジュールが確定後に協議することとした。

<選挙集計作業の方法・人員確保について>

<平成26年度選挙管理委員の選出について>

<選挙管理委員会印作成について>

- ・前年度、選挙管理委員会による選挙結果開示の際に押印が必要であったが、その印が無かったため都臨技公印を流用した。今後、委員会公印の必要性について理事会で協議して頂きたい。

○STI委員会

【検討事項】

1) 今年度 STI 予防教室日程・講師

- ・都立練馬工業高校 5月28日（火）午前 講師：上前泊，中山
- ・日大櫻丘高校 6月15日（土）午前 講師：松田，（杉本）
- ・都立芝商業高校 7月10日（水）午前 講師：板橋，（木村）
- ・日大豊山女子 7月12日（金）13:00～ 講師：（石井）
- ・東京電子専門学校 9月3日（水）または4日（木）午後 講師：未定

※出来る限り新規講師は講師経験者とペアになるようにする。

講師は都合により変更もあり、（ ）内の講師候補者は現在も日程調整中である。

日程調整校 安田学園高校（1年生のみで7月で調整中）

大森学園高校（7月第2週で調整中）

講師トレーニング ・上前泊，中山 4月17日（水），5月14日（火） 19時～ 都臨技事務所

- ・5月以降も新規講師候補者のトレーニングを順次行う。

2) その他の STI 予防啓発活動

<STI, エイズ予防関連のイベントへの参加>

- ・池袋エイズフェス（例年、11月23日祝日に開催）池袋ふぉー・ていーに参加について問い合わせする。（都臨技としてブースを出せるか、都臨技コンドームなどの配布のみは可能かどうか）
- ・その他に参加できそうなイベントについても調査する。
- ・今年度は日臨技 STI 予防啓発の助成金申請は未定である。申請しない場合、街頭配布やイベント参加にかかる費用は委員会予算から支出する。

3) 首都圏学会への参加

- ・10月26日（土）、27日（日）の日臨技首都圏支部医学検査学会で、委員会から一般演題を出す予定である。
- ・内容は今までの活動の紹介、STI 予防教室の効果、今後の課題など。演者は委員、サポートから選出する。
- ・学会では委員会企画がないため、空きスペースでパネル展示などが可能かどうか実行委員会で検討して頂く。

4) 子宮頸がんワクチンの接種啓発について

- ・子宮頸がんワクチンの副作用などが最近週刊誌などで大々的に報じられており、今後の予防教室で保護者等からの問い合わせが発生する可能性がある。ワクチンの定期接種化に合わせ、接種を推奨するのか、情報提供に留めるのか、委員会で検討する。

○その他

<監査報告書について>

- ・東海林監事より、平成24年度監査報告書が提示された。

<支部割について>

- ・支部割の新名称および支部長は、下記のとおりとする。
東支部 三橋理事、西支部 小山理事、南支部 杉岡理事、北支部 多田理事

3. 審議事項

○学生対象講演会における参加費について

平成25年6月22日（土）に開催予定の学生対象講演における参加費無料化について審議し、承認された。なお、2回目以降の学生対象講演は、学生会員を対象として計画予定である。

○生理検査研究班幹事の交代について

高城理事より以下のような提案がなされ、承認された。

旧幹事 菊地 美佳 会員（自宅会員） → 新幹事 新井 恵 会員（朝日生命成人病研究所附属病院）

○事務局より

1. 事務員給与の昇給について

前回の昇給から2年が経過しており、現状からの昇給を再考し提案され、承認された。

2. 事務員の臨時賞与の支給について

平成24年度においては、公益法人移行に伴い例年にないご尽力を頂いたので、パート事務員給与規程第10条に基づき臨時賞与の支給が提案なされ、承認された。

3. 米坂知昭氏の推薦について

米坂氏本人から第二十三回参議院議員通常選挙出馬に際し推薦依頼があり審議した結果、承認された。

4. 共催許可願い書について

○臨床化学検査研究班より共催許可願い書が提出され、審議されたのち承認された

講演名：東京都・千葉県・埼玉県臨床検査技師会 臨床化学検査研究班合同研修会

「腎機能マーカーとその評価について」

期 日：平成25年6月29日（土）14:00～17:00

会 場：NTT 東日本関東病院

講 師：安田 宜成 医師（名古屋大学腎臓内科 准教授）ほか3名

- 血液検査研究班より共催許可願い書が提出され、審議されたのち承認された
講演名：血液検査を見直そう「形態診断の秘策－血液形態パニック値の捉え方－」
期 日：平成 25 年 11 月 8 日（金）19:00～20:30
会 場：東京大学医学部附属病院 入院棟 15 階大会議室
講 師：阿南 健一 医師（福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科学）

5. 後援名義使用許可願い書について

- ロシュ・ダイアグノスティクス(株)から後援名義使用許可願い書が提出され、審議されたのち承認された。
講演名：多摩学術講演会「最新の感染症ガイドライン」
期 日：平成 25 年 6 月 8 日（土）
会 場：立川商工会議所 第 3 会議室
- シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)から後援名義使用許可願い書が提出され、審議されたのち承認された。
講演名：シーメンス多摩免疫セミナー
期 日：平成 25 年 6 月 21 日（金）18：30～20:00
会 場：立川アレア 2 6 階「アレアホール」
- 一般社団法人東京都臨床工学技士会から後援名義使用許可願い書が提出され、審議されたのち承認された。
講演名：第 12 回都民公開講座「iPS 細胞について」
期 日：平成 25 年 6 月 2 日（日）13：00～14:00
会 場：東京女子医科大学病院 弥生記念講堂

平成 25 年 4 月 23 日（火）
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議 長	印
（下田）	
監 事	印
（東海林）	
監 事	印
（立花）	
監 事	印
（遠藤）	